

## 【ユニット】 研究入門

### 【ユニットディレクター】

UD：村上 孝（微生物学）

UD 補佐：三輪 尚史（生理学） 小谷 典弘（薬理学） 魚住 尚紀（生化学） 太田 晶子（社会医学） 井上 勉（腎臓内科） 及川 洋一（内分泌内科・糖尿病内科） 前嶋 明人（総セ腎・高血圧内科（人工腎臓部）） 百瀬 修二（総セ 病理部） 井上 成一朗（総セ 肝胆膵外科・小児外科） 片桐 岳信（ゲノム基礎） 石黒 洋（国セ 乳腺腫瘍科） 解良 恭一（国セ 呼吸器内科）

### 【一般的な目標】

「研究入門」ユニットは「実験・調査クラス」と「論文精読クラス」の2つのクラスで構成されている。「実験・調査クラス」では、配属先の指導教員の指導のもと、実験活動や調査活動を実践する。「論文精読クラス」では、学術論文の精読を通じて、論理的・批判的な思考から研究の学術的意義や研究手法を理解する。また、研究活動中の配属先の教職員との対話を通し、他者と接する基本姿勢やコミュニケーション能力を向上させるとともに、研究倫理の基本を踏まえて、研究実践現場で協働することを学ぶ。これらの目標は、本学のコンピテンシー（4.自ら学ぶ姿勢、5.研究マインド、6.コミュニケーション能力）に適合するものである。

### 【具体的な目標】

1. 学術論文を読解し、自分の言葉で説明できる。
2. 研究の学術的「問い」や研究手法を理解し、自分の言葉で説明できる。
3. 学んだ知識をもとに、新しい課題や挑戦的な「問い」を見つけることができる。
4. 研究を行うために必要な研究倫理や安全上の基本的なルールを学び、協調的に研究活動に取り組む姿勢を身につけることができる。

### 【学習方法】

研究室選択にあたり『研究紹介』文を参照し、「実験・調査クラス」と「論文精読クラス」に記載されている内容から配属先の希望調査票を提出し、学生-教員間の相互マッチングを経て配属先を決める。具体的な研究課題や実施に伴う研究倫理教育や教育訓練等については予め『研究紹介』の必要要件を確認しておくこと。具体的な研究内容については各指導教員からの指示を参照すること。学生は少人数ごとに一定期間、各クラスに所属する研究室等に配属され、指導教員のもとで実際の研究過程を経験する。また「オール埼玉医大 研究の日」に実施される口頭研究発表を聴講し多様な医学研究を学ぶ。

### 【評価方法】

配属先の各指導教員によるルーブリック評価と、学生が提出した「研究活動記録」をもとに、CD・UD・UD 補佐らにより総合的に評価する。総合的な評価は、3年次の決められた時期に行う。研究活動報告書の提出方法と期限に関しては、別途指示が予定されている。

### 【授業予定表】

令和7年度は、3回のオリエンテーションに加え、2026年3月23日～4月4日にかけて研究室配属を実施する。

2025年11月8日「オール埼玉医大 研究の日」に実施される口頭研究発表を聴講し多様な医学研究を学ぶ。

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
研究入門1	06月30日	(月)	1	オリエンテーション1	村上 (微生物学)
研究入門2	08月25日	(月)	6	オリエンテーション2	村上 (微生物学)
研究入門3	11月08日	(土)	4~5	オール埼玉医大 研究の日	村上 (微生物学)
研究入門4	11月19日	(水)	4	オリエンテーション3	村上 (微生物学)
研究入門	03月23日~ 04月04日		1~6	実験・調査/論文精読	担当教員 (各基本学科)

### 【備考】

＜医学教育モデル・コア・カリキュラムとの対応＞ 生涯にわたって共に学ぶ姿勢(Lifelong Learning : LL)

LL-01: 生涯学習

科学的探究(Research : RE)

RE-01: リサーチマインド

RE-02: 既知の知

RE-03: 研究の実施

RE-05: 研究倫理

IT: 情報・科学技術を活かす能力

IT-01: 情報・科学技術に向き合うための倫理観とルール

IT-02: 医療とそれを取り巻く社会に必要な情報・科学技術の原理

IP: 多職種連携能力

IP-01: 連携の基盤

IP-02: 協働実践

他に、各研究課題内容に合致したモデル・コア・カリキュラムに該当する学修を実践する。